



イリヤ&エミリア・カバコフ
手をたずさえる塔 2021
大地の芸術祭 Photo: Nakamura Osamu



エレーナ・キターエウ
ヴィテブスクのポーランドの歌 1988



レオニート・チシコフ
僕の月 2003

ロシア東欧の現代アートの現在

本シンポジウムでは、ロシア、ウラル地方の自由な息吹に満ちた現代アートの研究を通じて、美術と政治の相克の歴史を浮き彫りにしてきたタマーラ・ガレーエワ氏、ベラルーシの現代美術と世界の国際芸術祭の研究を続け、キュレーター、作家としても活動するエカテリーナ・ケニグスベルク氏、ウクライナ出身の作家イリヤ&エミリア・カバコフ氏(ビデオメッセージ)をお迎えし、ロシア東欧の現代アートの状況、パンデミックと戦争の時代におけるアートの可能性について考えます。

- 12:20 | **趣旨説明**
鴻野わか菜 (早稲田大学)
- 12:25 | **エミリア・カバコフへのインタビュー (録画)**
岡田陽奈 (早稲田大学文学部2年) *資料作成 早稲田大学教育学部1年「テーマ演習」受講生
- 12:35 | **20世紀末から21世紀初頭のベラルーシの現代アート**
エカテリーナ・ケニグスベルク (ベラルーシ美術アカデミー)
- 13:20 | **ウラルの現代アート**
タマーラ・ガレーエワ (ウラル連邦大学)
- 14:05 | **ラウンドテーブル「ロシア東欧の現代アートの現在」**
タマーラ・ガレーエワ、エカテリーナ・ケニグスベルク、鴻野わか菜

日時: 2022年10月18日(火) 12時20分~14時40分
逐次通訳有り

オンライン&対面 早稲田大学16号館105号教室 (対面は要申込)

*対面はすでに定員に達し、申し込みを締め切りましたが、Zoom は申込み不要で、以下のURLでご覧頂けます。



<https://list-waseda-jp.zoom.us/j/91025771862?pwd=QitQNzc3Mit3bjZ4UEltNIQxdHA5UT09>
ミーティングID: 910 2577 1862 パスコード: 132155

本シンポジウムは「スーパーグローバル大学創成支援事業」における国際教育プログラムの一環として実施するものです。

【主催】 早稲田大学

【お問い合わせ】 鴻野わか菜(早稲田大学) k.wakana@waseda.jp



TOP GLOBAL
UNIVERSITY JAPAN